



もし薬剤師が
経済産業省
提唱の
『社会人基礎力』を
学んだら

日本メディカルキャリア 資料配布について

年々変わりゆく、薬剤師を取り巻く環境。特に、薬剤師の転職市場については、ここ数年で大きく変化し、首都圏を中心に『買手有利』が進んでいます。本資料では「もし薬剤師が経済産業省が提唱した『社会人基礎力』を学んだら」と題し現状の薬剤師のマーケットからの立ち位置を考え、今後の薬剤師に必要なスキル必や能力を提案。現在の職場で活躍したいときだけでなく転職する際にも役立ちます。以前のように簡単に転職できなくなった今だからこそ、改めて、薬剤師の転職事情を知っていただき ご自身での転職活動やキャリア形成に役立てていただければと思います。

もし薬剤師が
経済産業省
提唱の
『社会人基礎力』を
学んだら



レジュメ

✎ 社会人基礎力とは

✎ 薬剤師に必要な社会人基礎力

✎ 社会人基礎力を身につけるために
次に取り組むべきアクション

社会人基礎力とは

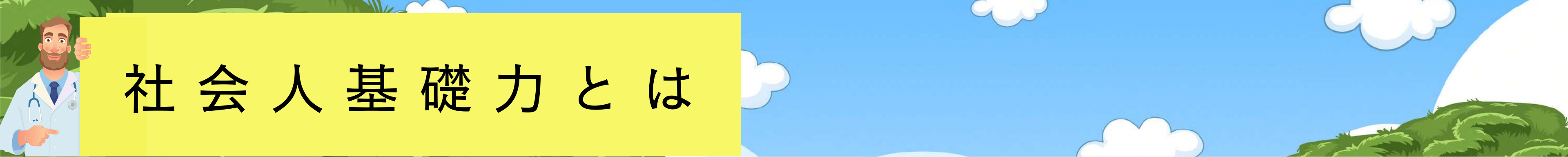
社会人基礎力とは2006年に経済産業省が提唱した
「仕事をしていくために必要な基礎的な力」
です。

社会人基礎力は

3つの能力と12の要素

に分けられています。





社会人基礎力とは



社会人基礎力を構成する3つの能力・12の能力要素



社会人基礎力とは

社会人基礎力を構成する
3つの能力・12の能力要素

前に踏み出す力 (アクション)

一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む力



前に踏み出す力 (アクション)

一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む力

指示待ちにならず、一人称で物事を捉え、自ら行動できるようになることが求められます。

主体性

物事に進んで取り組む力

働きかけ力

他人に働きかけ巻き込む力

実行力

目的を設定し確実に行動する力



社会人基礎力とは

社会人基礎力を構成する
3つの能力・12の能力要素

考え抜く力 (シンキング)

疑問を持ち、考え抜く力



課題発見力

計画力

創造力

考え抜く力 (シンキング)

疑問を持ち、考え抜く力

論理的に答えを出すこと以上に、自ら課題提起し、
解決のためのシナリオを描く、自律的な思考力が求
められます。

現状を分析し目的や課題を明らかにする力

問題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力

新しい価値を生み出す力



社会人基礎力とは

社会人基礎力を構成する
3つの能力・12の能力要素

チームで働く力 (チームワーク)

多様な人々とともに、目
標に向けて協力する力



チームで働く力（チームワーク）

多様な人々とともに、目標に向けて協力する力

グループ内の協調性だけに留まらず、多様な人々との繋がりや協働を生み出す力が求められます。個人で大きな成果をあげようとしても、一人でできることには限界があります。そこで、多様な人との協働が求められます。そのためには、自分の意見をわかりやすく相手に伝えること、相手の意見や立場を尊重し目標に向けて協力しあうことが必要です。

発信力 自分の意見を分かりやすく伝える力

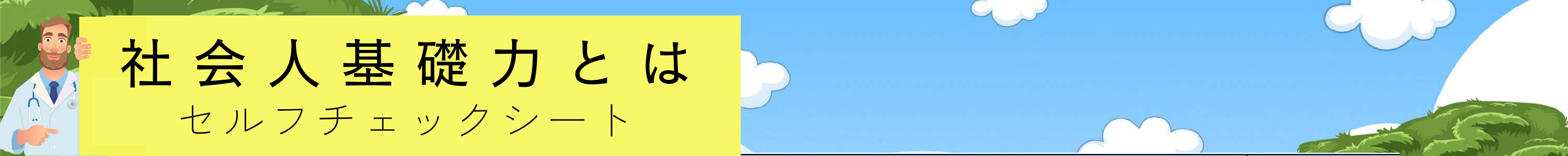
傾聴力 相手の意見を丁寧に聴く力

柔軟性 意見の違いや立場の違いを理解する力

状況把握力 自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力

規律性 社会のルールや人との約束を守る力

ストレスコントロール力 ストレスの発生源に対応する力



社会人基礎力とは

セルフチェックシート

評価項目		定義	内容	ガイドライン	自己評価ランク
前に 踏み出す 力	主体性	物事に進んで 取り組む力	指示を待つのではなく、自らやるべきことを見つけて積極的に取り組む。	・自分で考えて活動を進められるようになったか。 ・「できません」と言わずに取り組んだか。 ・自分からすすんで動くようになったか。	5 4 3 2 1
	働きかけ力	他人に働きかけ 巻き込む力	「やろうじゃないか」と呼びかけ、目的に向かって周囲の人々を動かす。	・積極的にクラス活動に従事したか。 ・まわりと助け合って取り組んだか。 ・確認や質問をしながら活動を行えたか。	5 4 3 2 1
	実行力	目的を設定し 確実に行動する力	言われたことをやるだけでなく自ら目標を設定し、失敗を恐れず行動に移し、粘り強く取り組む。	・自分の意見を提案したか。 ・自立的に活動に取り組んだか。 ・目的をよく考えて行動したか。	5 4 3 2 1
	前に踏み出す力 小 計				
考えぬく力	課題発見力	現状を分析し目的や課題を明らかにする力	目標に向かって、自ら「ここに問題があり、解決が必要だ」と提案する。	・必要な情報と必要ではない情報をきちんと区別できたか。 ・プロセスを自ら考え、実行できるようになったか。 ・確認や見直しを行い、ケアレスミスを未然に防いでいるか。	5 4 3 2 1
	計画力	課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力	課題の解決に向けた複数のプロセスを明確にし、「その中で最善のものは何か」を検討し、準備する。	・問題点を整理して行動したか。 ・重要となるポイントを優先して行動できたか。 ・事前に計画を立てて、期限内に完成できたか。	5 4 3 2 1
	創造力	新しい価値を生み出す力	既存の発想にとらわれず、課題に対して新しい解決方法を考える。	・タスクの目的に沿って、創造的に作品を作成しようとしたか。 ・参考文献や関連する資料から新しい成果物を作成したか。 ・比較や分析だけでなく、自分の考察を交えて成果物を作成したか。	5 4 3 2 1
	考えぬく力 小 計				

参照：社会人基礎力チェックリスト（行動変容評価）
一般社団法人 留学生支援ネットワーク



社会人基礎力とは

セルフチェックシート

チームで働く力	発信力	自分の意見をわかりやすく伝える力	自分の意見をわかりやすく整理した上で、相手に理解してもらえるように的確に伝える。	・発表時において、論点を整理してわかりやすい説明ができたか。 ・必要な情報を伝えられるようになったか。 ・報告・連絡・相談をする習慣を身に付けられたか。	5 4 3 2 1
	傾聴力	相手の意見を丁寧に聴く力	相手の話しやすい環境を作り、適切なタイミングで質問するなど相手の意見を引き出す。	・ほかの人から必要な情報を引き出せるようになったか。 ・相手が言いたいことをしっかり把握できるようになったか。 ・自分と異なる意見をよく聴くことができるようになったか。	5 4 3 2 1
	柔軟性	意見の違いや立場を理解する力	自分のルールややり方に固執するのではなく、相手の意見や立場を尊重し理解する。	・相手の立場に立って考えられるようになったか。 ・状況に応じさまざまな異なる方法で対応できるようになったか。 ・異なる文化の思考方法、習慣の違いなどに対応できるようになったか。	5 4 3 2 1
	状況把握力	自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力	チームで仕事をするとき、自分がどのような役割を果たすべきかを理解する。	・自分の役割を十分理解して取り組めるようになったか。 ・自分の良さを把握し、自分の役割分担を理解しているか。 ・他の人の良さを引出し、チーム全体を考え行動できたか。	5 4 3 2 1
	規律性	社会のルールや人との約束を守る力	状況に応じて、社会のルールに則って自らの発言や行動を適切に律する。	・授業や活動時間の使い方の自己管理ができるようになったか。 ・宿題の提出など、決められた期限を守ったか。 ・社会的なルール、マナーを守って行動できたか。	5 4 3 2 1
	ストレスコントロール力	ストレスの発生源に対応する力	ストレスを感じることがあっても、成長の機会だとポジティブに捉えて肩の力を抜いて対応する。	・大変な時、仲間の協力などにより、乗り越えようと努力したか。 ・疲れている時や、気持ちが沈んでいる時でも、前向きに授業に望んだか。 ・自分で感情をコントロールできたか。	5 4 3 2 1
	チームで働く力 小 計				

厚生労働省も提供している社会人基礎力のチェックシートもあります。
より詳しくセルフチェックされたい方はこちらも行ってみてください

[エンプロイアビリティチェックワークシートへ](#)

(引用：社会人基礎力、厚生労働省「エンプロイアビリティの判断基準に関する調査研究報告書」2001)



社会人基礎力とは

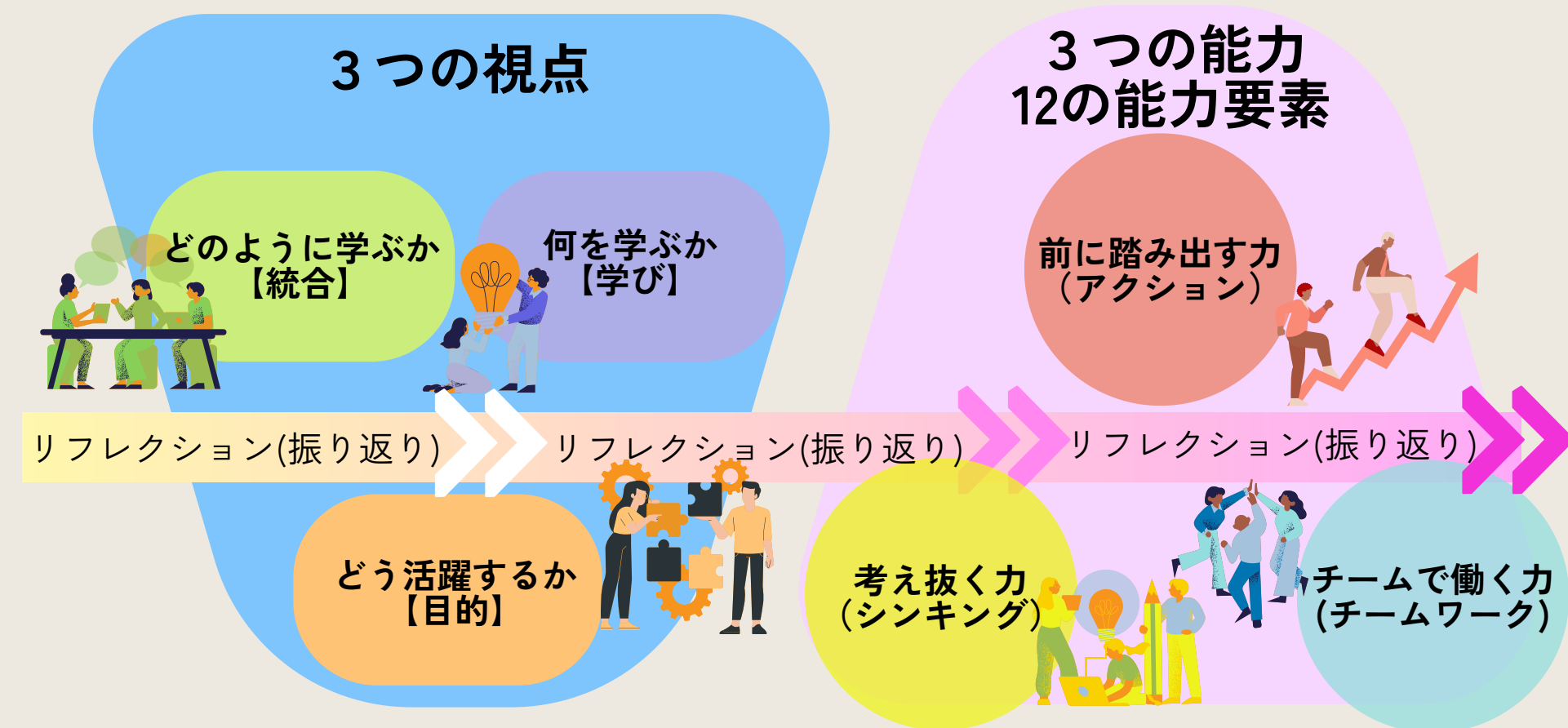
社会人基礎力を構成する
新たな3つの視点

2018年に経済産業省によって新たに定義された「人生100年時代の社会人基礎力」では、新たに3つの目的、学び、統合の視点が加わりました。

「人生100年時代の社会人基礎力」は、これまで以上に長くなる個人の企業・組織・社会との関わりの中で、ライフステージの各段階で活躍し続けるために求められる力と定義され、社会人基礎力の3つの能力・12の能力要素を内容としつつ能力を発揮するにあたって、自己を認識してリフレクション（振り返り）しながら

目的・学び・統合

のバランスを図ることが、企業・組織・社会との関わりの中で自分の能力を十分に発揮するために、**自らキャリアを切りひらいていく**上で必要と位置付けられています。





社会人基礎力とは

社会人基礎力を構成する
新たな3つの視点

3つの視点

どのように学ぶか
【統合】



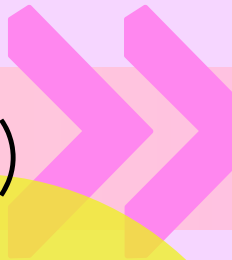
何を学ぶか
【学び】



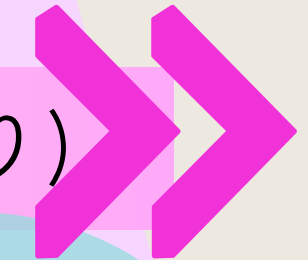
リフレクション(振り返り)



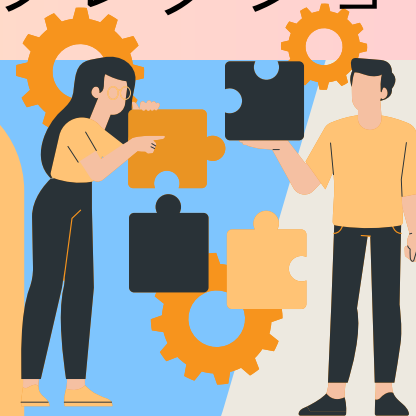
リフレクション(振り返り)



リフレクション(振り返り)



どう活躍するか
【目的】



考え抜く力
(シンキング)



チームで働く力
(チームワーク)



3つの能力 12の能力要素

前に踏み出す力
(アクション)





社会人基礎力とは

社会人基礎力を構成する
新たな3つの視点

学び：何を学ぶか

「学び（何を学ぶか）」とは、
「学び続けることを学ぶ」こと

何を学ぶか
【学び】



これまでは終身雇用が背景にあったことより「学ぶ・働く・引退する」という3段階の直線的なキャリアモデルが一般的でした。しかし、人生100年時代を生きている現代においては、働きながら必要なスキルを積極的に学びながら、転職や平行キャリアを持つなど、複線的なキャリアが主流となりつつあります。キャリア形成の中で学びながら、かつ新しい学びを継続する力が求められるようになってきました。学び続ける上では、何を学べばいいのかが重要であり、明確にする必要があります。

今後AIに取って代わられないためにも、自らの強みを強化し弱みを補完して能力を発揮するための力として「**考え抜く力**」がより一層求められます。



社会人基礎力とは

社会人基礎力を構成する
新たな3つの視点

統合：どのように学ぶか

自らの視野を広げる、そして、自己の体験・経験
や能力と、他者が得意なものを組み合わせて、目
的の実現に向けて統合すること



どのように学ぶか
【統合】

何を学ぶかを決めて学びは始める時には、
単に新たなインプットだけで終わらせるのではなく
これまでの体験や培ってきた能力・キャリアと組み合わせて
学びを統合させる必要があります。

また「チームワーク」や「前に踏み出す力」も重要です。
目的の実現に向けて一人で学ぶよりも多様な人たちの得意なものと組み合わせていくことも
大切です。大勢で議論した方が新たな視点に気づきやすいものです。
他者の力をうまく取り入れながら新しいものを作り上げていくことこそが統合なのです。



社会人基礎力とは

社会人基礎力を構成する
新たな3つの視点

目的：どう活躍するか

自己実現や社会貢献に向けて行動すること

人生100年時代において、自分のキャリアを会社に依存する時代は終わり自らキャリアを切りひらいていくことが求められています。

自分のキャリアを作るために、自分自身の人生を何のために使うか、何のために働くかという目的を見出し、《学び》何を学び・《統合》どのように学ぶかを決めて、《目的》実行に移していきます。

実際に実行していく上では、「**前に踏み出す力**」が重要です。目的を見出し、また、学びや統合によって良いアイデアが得られたとしても、それらを実行できなければ意味がありません。学んだ内容をどのように生かしていくのかまでを考えて、確実に行動に移していくことが大事になってきます。

どう活躍するか 【目的】





薬剤師に必要な社会人基礎力

薬剤師を取り巻く環境は
ここ数年で大きく変化をしています。
ついに薬剤師は需要と供給が逆転し、
「薬剤師サバイバル時代」へと突入します。

長年、人手不足が叫ばれていた薬剤師ですが、厚労省
が出した薬剤師の需給調査では、現時点ですでに需要
が共有を上回っています。今後もその格差は、更に広
がると予想をされ、2045年には最大で126,000人の
薬剤師が余剰になるデータが出ています。

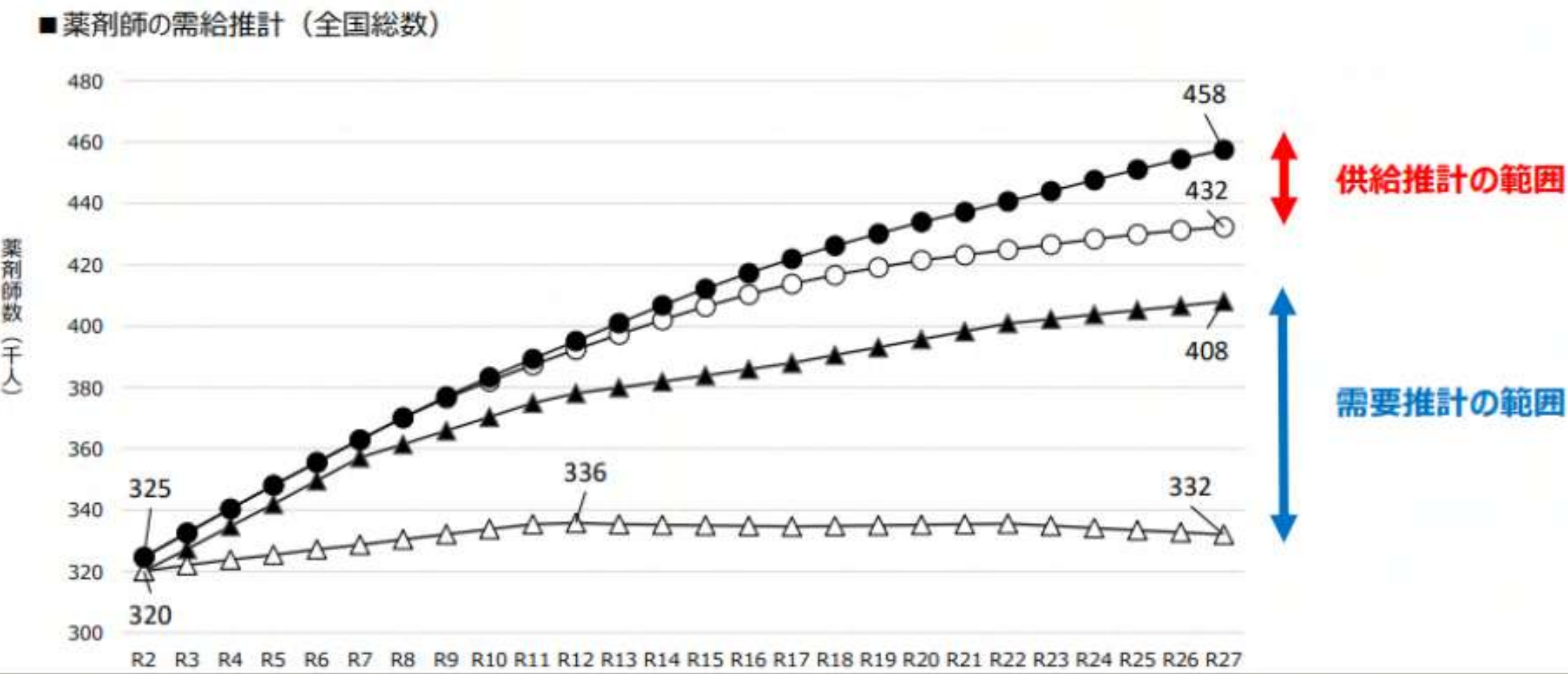


薬剤師に必要な社会人基礎力

○ 1の需要推計、2の供給推計を比較したところ、以下のとおり。

(需給推計イメージ)

需要 32.0万人→33.2万人 (機械的推計)
32.0万人→40.8万人 (変動要因を考慮)
供給 32.5万人→45.8万人 (毎年一定数増加)
32.5万人→43.2万人 (今後の増加数が減少と仮定)



厚生労働省 薬剤師の需給推計(案) より引用



薬剤師に必要な社会人基礎力

1. 病院薬剤師偏在指標の算定式

$$\text{病院薬剤師偏在指標} = \frac{\text{調整薬剤師労働時間（病院）（※病院分子）}}{\text{薬剤師（病院）の推計業務量（※病院分母）}}$$

2. 薬局薬剤師偏在指標の算定式

$$\text{薬局薬剤師偏在指標} = \frac{\text{調整薬剤師労働時間（薬局）（※薬局分子）}}{\text{薬剤師（薬局）の推計業務量（※薬局分母）}}$$

※薬剤師偏在指標は、都道府県・二次医療圏などの地域毎に算出するものであり、分子、分母はともに当該地域のデータから算定される結果を用いる
・分子、分母の単位は「時間」

※薬剤師偏在指標の算定について- 厚生労働省 より引用

またここ数年の薬剤師転職市場では「買い手市場」「売り手市場」という言葉をよく聞くようになりました。これは、就職求人市場の需要状況を示す言葉です。「売り手市場」は、就職したい薬剤師に対して、採用したい企業数が多く 薬剤師側（求職者）にとって優位な状況です。逆に、就職したい薬剤師に対して、採用したい企業が少なくなる場合は「買い手市場」となり、企業側が優位な状況となります。このような、採用側が有利な「買い手市場」が首都圏や都市部を中心に広がっているのが、現在の薬剤師の転職市場となります。

現在は薬局の薬剤師偏在地域(※)1.0以上は「買い手市場」を中心に10県未満であります。施設形態やエリアによっては「売り手市場」は薬剤師不足であるが、将来は全国的にほとんどすべての県が薬剤師偏在地域1.0以上となる目標を厚生労働省たてています。これよりすべての県で現在の買い手エリアのような状況が予想できます。



薬剤師に必要な社会人基礎力

迫りくる「薬剤師サバイバル時代」、薬剤師飽和時代に向けて必要だと言われているのが『能力開発』です。

ひと昔前の薬剤師における『能力開発』は専門スキルの向上（専門資格の取得など）が一般的でしたが現在、薬剤師に求められるスキルは多様化しています。特に、コミュニケーション能力や折衝能力など、あまり重視をされなかったスキルが、今では非常に注目をされています。

こういったスキルを、ポータブルスキルと呼んだりしますが、最近ではポータブルスキルを採用基準や人事評価の一部に取り入れている医療機関も少なくありません。なぜなら、厚労省によるかかりつけ薬局の推進に加え、オンライン診療・服薬指導がスタートしたことで拍車がかかりました。これにより、立地での優位性が今後低下する予測をされており競合他社との競争が発生し、選ばれる「薬局」であったり「薬剤師」の流れになりつつあるためです。



薬剤師に必要な社会人基礎力

以前の『薬剤師・超人手不足』時代では薬局を運営するために、躍起になって薬剤師を採用する必要がありました。

そのため、薬剤師としての仕事ができる「テクニカルスキル」の保有を、採用の基準にしている薬局も多くあったため、仕事への向き合い方の「スタンス（＝仕事の向き合い方など）」や、「ポータブルスキル（＝折衝能力等）」は、どうしても優先順位を下がってしまう傾向にあったのです。

以前と比べ、今の薬剤師に求められる業務領域や能力は広がりを見せています。「スタンスやポータブルスキルの上に、テクニカルスキルが成り立つ」と考える薬局が増え、過去の価値観とは大きく異なっていることが分かります。

テクニカルスキル

（専門性が高いスキル）

- ・薬剤師としての専門スキル
- ・資格取得 など

以前の重要度

高

ポータブルスキル

（異業種や他の会社にも通用するスキル）

- ・コミュニケーション能力
- ・現状把握能力 ・折衝能力 など

今の重要度

高

スタンス

（仕事への向き合い方・価値観等）

- ・仕事に対する心構
- ・社会人の基礎能力 など

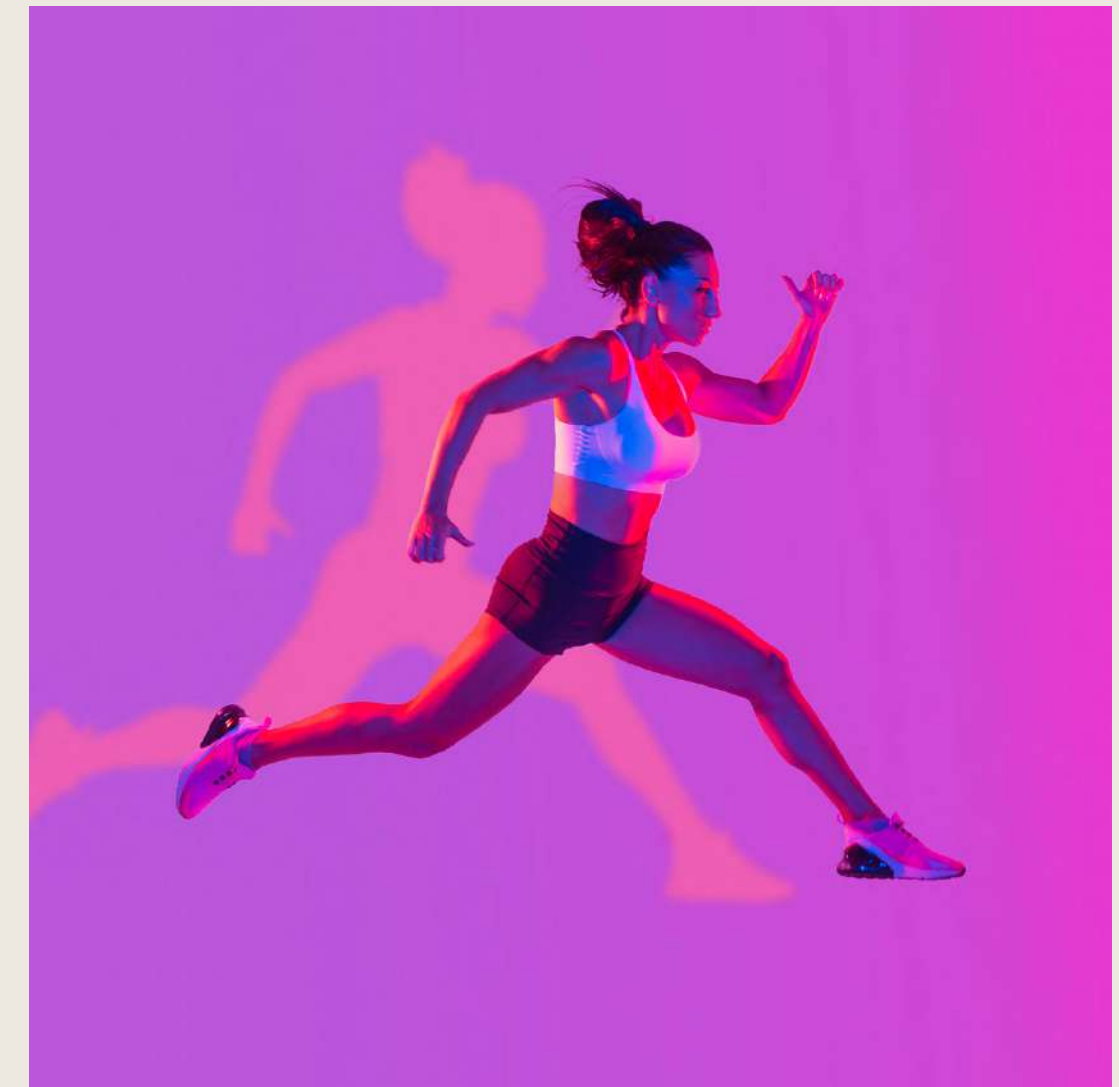


薬剤師に必要な社会人基礎力

しかしながら一方で、薬局業界全体の課題としてよく挙げられているのは「ポータブルスキルの教育不足」です。

今まで、あまり重要視されていなかったポータブルスキルが、ここ数年で急激に重要性を増しているにも関わらず、ポータブルスキルの教育体制がまだ整っていない薬局も多く、社内育成が困難な状況です。そのためポータブルスキルは個人にてスキルアップを行う事も視野にいれなくてははいけません。しかしながらこのような状況なため、逆に言えばポータブルスキルは自身の付加価値になりえる要素となります。

ポータブルスキルはビジネスで成果をあげていくためのスキルですが定義すること自体が難しい側面があるため既に定義されている社会人基礎力をひとつの目安として活用すると、ポータブルスキルのトレーニングを実施しやすくなります。





薬剤師に必要な社会人基礎力

@2023 Nihon Medical Career All rights reserved

社会人基礎力は、ビジネスパーソンにとってすべて必要な能力ですが、薬剤師としてまず身に着けておきたい社会人基礎力は服薬指導にも関わる

発信力 傾聴力 柔軟性

新卒・第二新卒時の成長率に関わる

主体性 規律性

は押さえておきたい要素。

そして何より仕事をし続けるためにも

ストレスコントロール力

は早急に身に着ける必要がある要素です。

- 主体性 物事に進んで取り組む力
- 働きかけ力 他人に働きかけ巻き込む力
- 実行力 目的を設定し確実に行動する力
- 課題発見力 現状を分析し目的や課題を明らかにする力
- 計画力 問題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力
- 創造力 新しい価値を生み出す力
- 発信力 自分の意見を分かりやすく伝える力
- 傾聴力 相手の意見を丁寧に聴く力
- 柔軟性 意見の違いや立場の違いを理解する力
- 状況把握力 自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力
- 規律性 社会のルールや人との約束を守る力
- ストレスコントロール力 ストレスの発生源に対応する力



薬剤師に必要な社会人基礎力

@2023 Nihon Medical Career All rights reserved

次いで薬剤師に必要な社会人基礎力は
チーム医療に関わる

状況把握力

実行力

働きかけ力

教育指導の役割や独立開業やマネジメン
ト層へのキャリアアップを選択肢と
して考え始めた時点で必要な

課題発見力

計画力

創造力

など、自身のキャリアプランで優先順
位が異なってくるかもしれません。

主体性

物事に進んで取り組む力

働きかけ力

他人に働きかけ巻き込む力

実行力

目的を設定し確実に行動する力

課題発見力

現状を分析し目的や課題を明らかにする力

計画力

問題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力

創造力

新しい価値を生み出す力

発信力

自分の意見を分かりやすく伝える力

傾聴力

相手の意見を丁寧に聴く力

柔軟性

意見の違いや立場の違いを理解する力

状況把握力

自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力

規律性

社会のルールや人との約束を守る力

ストレス
コントロール力

ストレスの発生源に対応する力

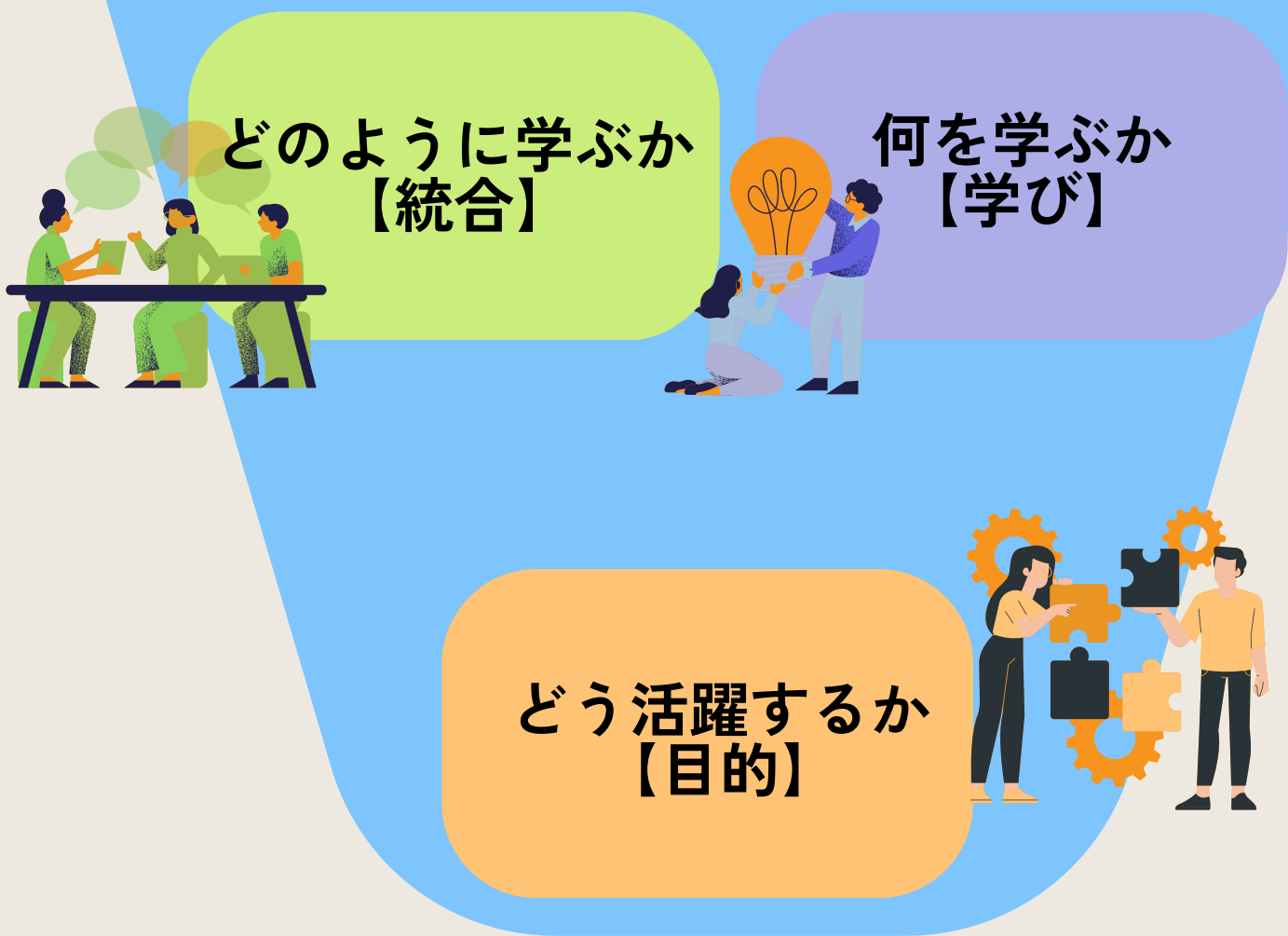


薬剤師に必要な社会人基礎力

@2023 Nihon Medical Career All rights reserved

12の要素以上に
忘れてはならないのが3つの視点

3つの視点



薬剤師業界は狭い世界だとよく言われます。
その言葉には

- ・一定の人間関係
- ・同じような作業の繰り返し
- ・変わり映えの無い競合他社

なども含まれているのではないのでしょうか。

●-----●だからこそ●-----●

「自らの付加価値を生み出すための学びはなにか」
「多様な人と出会い、視野を広く持ち
多様な機会を得ているか」
「組織や家庭との関係でどんな自分でありたいか」
を振り返る機会を意識して作り
個人の成長がテクニカルスキルに偏らず
狭い世界から主体的に抜け出る瞬間を
作っていきましょう。

社会人基礎力を身につけるために
次に取り組むべきアクション



**TAKE
ACTION**

4



社会人基礎力を身につけるために 次に取り組むべきアクション

自分分析による自己理解を深めよう

社会人基礎力は鍛えることが可能です。
社会人基礎力を鍛えるにはまず、自分の現在の能力を客観視するところから始めてみましょう。

自分ができている点、できていない点は何かを洗い出していきます。次に、周りの人たちから意見を聞いてみましょう。すると、自分ではできていないと感じていたところが評価されたり、自分ではできていると思ったところが客観的に見ればできていなかったりという気づきを得られるかもしれません。主観と客観の両方から自己を分析していきましょう。

社会人基礎力診断ツールなど自己分析を行う診断ツールを利用するのもおすすめです。診断ツールを活用することで、感覚的・属人的な思考に頼ることなく、再現性のある形で正確に今の自分を把握することができます。



社会人基礎力を身につけるために 次取るべきアクション



社会人基礎力を意識して生活してみる

日頃から社会人基礎力を意識して生活してみましょう。
日常生活の人生経験すべてが社会人基礎力を鍛えられる場である意識することが大切です。
自分分析により成長させたい要素に関する書籍・セミナー、また身近にいる成長させたい要素を持ち得ていると思われる人の方法など積極的に知識の学びとして自身取り入れ、日々の仕事や生活で学んだフレームワーク・手法を実施してみましょう。

『何を実現したくて、どうなりたいのか、
今後どこを目指すべきなのか』
長期的なキャリアを考えにくい薬剤師
マーケットの状況ではあるもののライ
フイベントが発生した時、制度が変わ
った時、悩んだ時などこまめに振り返
りをおこない、自らの成長の方向性や
立ち位置を確認しておくといでしょう。





社会人基礎力を身につけるために 次取るべきアクション

キャリアの方向性（キャリアプラン）を明確に

社会人基礎力は育てる事が可能です。自分の能力を把握し、できることを細分化して行動につなげましょう。意欲的に取り組めば、社会人基礎力は鍛えられます。
薬剤師として成し遂げたいことや果たして行きたい役割、人生における仕事の位置づけなどを考えることで、向かうべき方向性が見えてきます。自己分析によりわかってきた「現在地」とキャリアプランによる「ゴール」がわかることで、何を学んでいきたいかが明確になってきます。

目標を設定するためのフレームワークで効果的で重要な考え方といわれているのはSMARTの法則と呼ばれるものです。

SMARTの法則

- SPECIFIC：具体的に（明確で具体的な目標）
- MEASURABLE：測定可能な（目標の達成度合いを測る指標を明記）
- ACHIEVABLE：達成可能な（適正な目標レベルの設定）
- RELATED＝経営目標に関連した（会社目標との関連させた自分の役割・使命の明確化）
- TIME-BOUND＝時間制約がある（時間軸の設定）

SMARTの法則フレームワークに当てはめると必要なステップや到達するためのリソース、進捗状況を示すマイルストーンを明確にし効率的かつ効果的に目標を達成できる可能性が高くなります。



社会人基礎力を身につけるために 次取るべきアクション

定期的に振り返り、学びの棚卸を行う

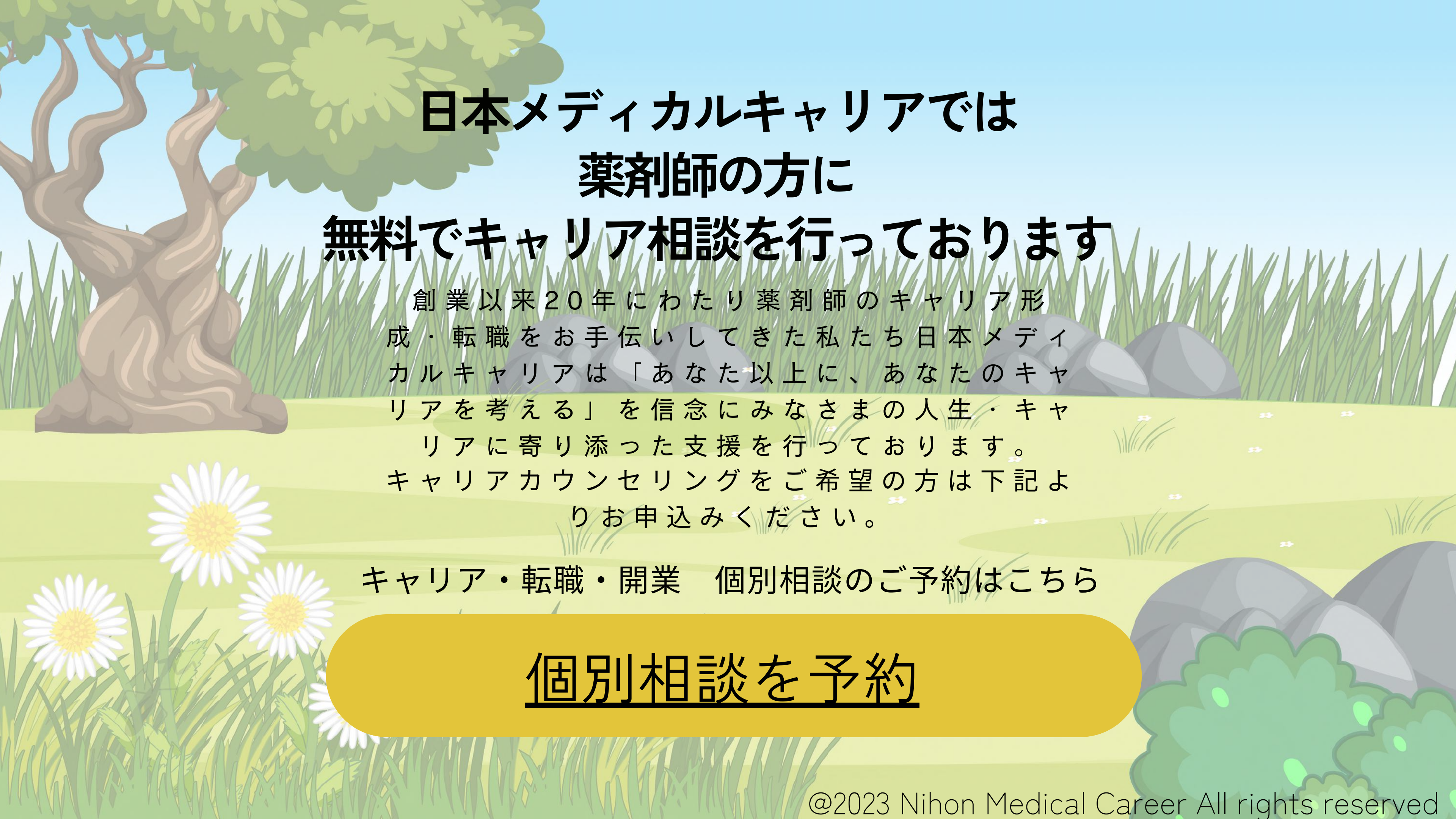
企業による支援を受ける／専門家による支援を受ける

再定義された重要とされる社会人基礎力を構成する新たな3つの視点である《どう活躍するか（目的）何を学ぶか（学び）どのように学ぶか（統合）》を自分自身について「リフレクション（振り返り）」するためにキャリアコンサルタントなどの支援を活用するのもおすすめです。

キャリアコンサルタントとは国家資格を保有しています。急速に時代が変化する中、その人らしい多様な生き方や働き方を実現するための多くの悩みについて解決を促し、自分らしい生き方の実現を支援する専門家です。

専門家の介入により効果的で充実した振り返りはもちろんだが、定期的に自ら振り返りを行えるように様々な自己診断ツールやフレームワークを案内してもらえるのも企業・専門家を利用するメリット。





日本メディカルキャリアでは 薬剤師の方に 無料でキャリア相談を行っております

創業以来20年にわたり薬剤師のキャリア形成・転職をお手伝いしてきた私たち日本メディカルキャリアは「あなた以上に、あなたのキャリアを考える」を信念にみなさまの人生・キャリアに寄り添った支援を行っております。キャリアカウンセリングをご希望の方は下記よりお申込みください。

キャリア・転職・開業 個別相談のご予約はこちら

個別相談を予約

COMPANY DATA

社 名 株式会社 日本メディカルキャリア
設立年月日 2017年4月1日
資 本 金 1,000万円
本社所在地 〒150-0041 東京都渋谷区神南1-18-2 フレーム神南坂3階
連 絡 先 ☎ 0120-979-882 FAX: 0120-936-548
代 表 者 代表取締役 落合 宏明

サービスの詳細を見る

事業内容

有料職業紹介事業（有料職業紹介事業許可番号13-ユ-308417）
キャリア支援事業・ライフ支援事業
転職サイト「医師ベストキャリア」の運営 [HTTPS://ISHIBESTCAREER.COM/](https://ishibestcareer.com/)
転職サイト「薬剤師ベストキャリア」の運営 [HTTPS://YAKUZAISHIBESTCAREER.COM/](https://yakuzaishibestcareer.com/)
医師資産形成支援サイト「医師資産形成.COM」の運営 [HTTPS://ISHISHISANKEISEI.COM/](https://ishishisankeisei.com/)
クリニック開業案件情報サイト「医院開業バンク」の運営 [HTTPS://WWW.IINKAIGYOBANK.COM/](https://www.iinkaigyobank.com/)
医療従事者向けマッチングアプリ「メディカルラウンジ」の運営 [HTTPS://LP.MEDICALLOUNGE.JP/](https://lp.medicalounge.jp/)
医療従事者向け社会人基礎力Eラーニング研修「まなびメディカル」の運営 [HTTPS://MANABIMEDICAL.COM/LP/](https://manabimedical.com/lp/)